

これでいいのか！ 京都府の地震対策

年度内に改修？ 遅れる府営住宅の復旧

6月の大阪北部地震で八幡市は各地で被災しましたが、美桜府営住宅は、廊下や室内の壁の損壊が激しく、市が設置した避難所の利用は約1週間に及びました。余震が続き、避難所から住宅に戻れず、子どもさんの家に一時避難されていた方もいました。

府営住宅の改修を急ぐ必要があります。京都府によれば、10月ごろに改修の説明会を開き、来年3月までに改修を終える計画になっています。このテンポではあまりにも遅すぎます。



被災直後の美桜府営住宅

倉林参院議員、森下府議、市議団らが合同演説



日本共産党八幡市議団は5日、倉林明子参院議員とともに八幡市内で街頭演説をしました。森下よしみ京都府会議員、市議団からいわおひろし、山本くにお、かめだ優子、中村せいこうの4市議、さわむら純子市議選予定候補も訴えました。

倉林参院議員は、地震、豪雨災害対策よりも悪法強行を優先した安倍政権の姿勢を厳しく批判しました。野党共闘と国民世論の広がり、首相がねらっていた憲法改悪案づくりをストップできたことなどを紹介し、野党共闘を前に進める日本共産党を伸ばしてくださいと訴えました。

被爆73年

世界に広げよう 核兵器禁止 広島で世界大会など

八幡からも参加

広島への原爆投下から73年を迎えた8月6日、広島では平和記念式典がおこなわれ、核兵器廃絶、平和を願う原水爆禁止世界大会が開かれました。八幡市からも、記念式典には中学生の平和大使が、世界大会には市内の各団体・個人から参加しました。

人類史上初めて核兵器を違法とする核兵器禁止条約が国連で採択されて1年がたち、条約に背を向ける日本政府に怒りの声が高まりました。

核兵器禁止を願う世界の国々の人たちと力を合わせ、核兵器を禁止する国際的な世論と運動を広げましょう。